

「キーワード解説：会計基準のコンバージェンス」『一橋ビジネス・レビュー』2007年冬号。

「IR ツールズームアップ (1)」『IR. Com』2008年6月号。

「IR ツールズームアップ (2)」『IR. Com』2008年9月号。

「IR ツールズームアップ (3)」『IR. Com』2008年11月号。

「IR ツールズームアップ (4)」『IR. Com』2008年12月号。

「IRにおけるセグメント情報開示の状況 (1)」『IR. Com』2009年7-8月号。

「IRにおけるセグメント情報開示の状況 (2)」『IR. Com』2009年9月号。

「IRにおけるセグメント情報開示の状況 (3)」『IR. Com』2009年10月号。

書評「森美智代著『会計制度と実務の変容ードイツ資本会計の国際的調和化を中心としてー』『証券経済研究』第68号, 2009年12月。

「企業の業績予想バイアスと証券アナリストの関係」日本IR学会 研究分科会『IRの実証的効果測定 (中間報告書)』2010年3月。

「情報開示は企業の基本戦略」埼玉新聞2010年5月14日付。

「岐路に立つ業績予想開示」『IR. Com』2010年11月号。

「投資家のVoiceとIR」『IR. Com』2010年12月号。

「政策保有株式と外国人投資家」『IR. Com』2011年10月号。

「IFRSによる新セグメント開示」『IR. Com』2011年11月号。

「IRから見る包括利益」『IR. Com』2011年12月号。

「資本コストを意識したIR」『IR. Com』2012年10月号。

「持続的な株式価値向上のためのIR」『プロGRESS (中部産業連盟機関誌)』2013年6月。

「社長の報酬はこうして決まっている！」『会計人コース』2014年9月。

「知らない痛い資本市場のイロハ」『会計人コース』2014年10月。

書評「越智信仁著『持続可能性とイノベーションの統合報告』『国際金融』1272号, 2015年5月1日。

「賢明なる投資家とは - 日本株の地盤沈下と取締役報酬」『ジャパニーズ・インベスター』Vol. 86, 2015年秋号。

書評「越智信仁著『持続可能性とイノベーションの統合報告』『インベスター・リレーションズ』第9号, 2015年10月。

書評「橋本尚編著『利用者指向の国際財務報告』『産業経理』Vol. 75 No. 4, 2016年1月。

「支配権獲得に支払う買収プレミアム」『MARR』263号, 2016年9月号。

書評「越智信仁著『社会的共通資本の外部性制御と情報開示』『資本市場』2018年11月。

「表彰候補50社から見た経営の強さ」東京証券取引所(編)『企業価値を高める経営 投資家との協創が生む持続的成長』日本経済新聞出版社, 2018年11月。

「ガバナンスがディスクロージャーに与える影響」『年報 経営ディスクロージャー』No. 18, 2019年3月。

「政策保有株式の開示について考える」『Aoyama Accounting Review』No. 9, 2019 年.

書評「伊藤和憲著『価値共創のための統合報告 - 情報開示から情報利用へ - 』」『会計・監査ジャーナル』No. 802, 2022 年 5 月.

書評「濱村純平・井上謙仁・早川翔『経営者報酬の理論と実証』」『会計・監査ジャーナル』No. 836, 2025 年 3 月.